

# 令和6年度 全国学力・学習状況調査

## 1 調査実施日

令和6年4月18日（木）

## 2 調査目的

本町の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析した上で、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、教育に関する継続的な検証改善のサイクルを確立する。また、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況、生活習慣の改善等に役立てる。

## 3 調査内容

### (1) 児童生徒に対する調査

#### ① 教科に関する調査

(ア) 小学校調査は、6年生を対象とし、国語・算数に関する調査とする。

中学校調査は、3年生を対象とし、国語・数学に関する調査とする。

(イ) 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容はそれぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等

② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

(ウ) 調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととし、出題形式については、記述式の問題を一定割合で導入する。

#### ② 質問調査【オンラインでの回答】

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施する。

## 4 実施概況 ※町内全小・中学校が実施

### (1) 小学校6年生（算数の回答数）

・全国（公立）	：	947, 579名
・栃木県（公立）	：	14, 403名
・野木町	：	170名

### (2) 中学校3年生（数学の回答数）

・全国（公立）	：	875, 952名
・栃木県（公立）	：	14, 529名
・野木町	：	164名

野木町教育委員会

## 1-1 小学校国語（調査時間45分）

「学習指導要領に示された内容に基づき、中心的に取り上げるものを精選した問題」として、14設問で構成されている。  
本町の結果は、全国及び県平均とほぼ同じ正答率であった。

この調査では、学習指導要領の内容として『言葉の特徴や使い方』『情報の扱い方』『我が国の言語文化』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の6つの領域ごとに集計している。

本町の結果を全国・県平均正答率とそれぞれ比較すると、以下のとおりである。

- ・『言葉の特徴や使い方』：全国・県を下回った
- ・『情報の扱い方』：全国・県とほぼ同じであった
- ・『我が国の言語文化』：全国を大きく上回り、県を上回った
- ・『話すこと・聞くこと』：全国を下回り、県とほぼ同じであった
- ・『書くこと』：全国とほぼ同じ、県を下回った
- ・『読むこと』：全国・県を上回った

## 1-2 小学校国語の傾向及び改善策

### ① 傾向

国語の平均正答率は全国、県とほぼ同じであった。  
全問正答者（14/14問）及び正答数が13問の児童が全国平均より少なく、正答数が12、11、10問の児童が多い。  
問題形式では、全国と比べ記述式の正答率が高い傾向にある。

### ② 成果・課題および考えられる改善策

#### 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

- ◆：学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことに課題がある。  
→ 漢字による熟語などの語句が一層増加する時期であるため、漢字の持つ意味を考えて使う習慣が身に付くようにする。

#### 【情報の扱い方に関する事項】

- ◎：情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解することはできている。

#### 【我が国の言語文化に関する事項】

- ◎：日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに役立つことに気付くことはできている。

#### 【話すこと・聞くこと】

- ◆：目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討することに課題がある。  
→ 伝え合う内容を検討する際に、自分が伝えたいことと聞き手の求めていることに応じて情報を整理する。学習活動を振り返る場面を設定し、情報を整理することの良さを考えることができるようにする。その際、目的や意図に応じて聞き手が知りたいことを想定して、内容を検討することができたかという視点を持たせる。

#### 【書くこと】

- ◎：目的や意図に応じて、事実と感想、意見とを区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することはできている。

#### 【読むこと】

- ◎：人物像や物語の全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすることはできている。
- ◎：登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えることはできている。

## 2-1 小学校算数（調査時間45分）

「学習指導要領に示された指導内容をバランスよく出題した問題」として、16設問で構成されている。  
本町の結果は、全国平均を下回り、県平均とほぼ同じ正答率であった。

この調査では、学習指導要領の領域等として『数と計算』『図形』『変化と関係』『データの活用』の4つの領域ごとに集計している。

本町の結果を全国・県平均正答率とそれぞれ比較すると、以下のとおりである。

- ・『数と計算』 : 全国・県を下回った
- ・『図形』 : 全国・県とほぼ同じであった
- ・『変化と関係』 : 全国を下回り、県とほぼ同じであった
- ・『データの活用』 : 全国・県とほぼ同じであった

## 2-2 小学校算数の傾向及び改善策

### ① 傾向

算数の平均正答率は全国を下回り、県とほぼ同じであった。  
全問正答者（16/16問）及び正答数が15問の児童の割合はほぼ全国平均と同様であり、正答数が14問の児童が多い。一方で、13～10問の児童は全国より少なく、9、8、7問の児童が多い。  
問題形式では、全国と比べ短答式の正答率がやや低い傾向にある。

### ② 成果・課題および考えられる改善策

#### 【数と計算】

- ◎：数量の関係を、□を用いた式に表すことはできている。
- ◆：除数が少数である場合の除法の計算をすることに課題がある。
  - 整数の場合の計算の意味や計算の仕方を活用して、計算ができるようにする。  
筆算による計算の仕方を形式的に指導するのではなく、除法に関して成り立つ性質を活用して理解できるようにする。

#### 【図形】

- ◎：直方体の見取図について理解し、かくことはできている。
- ◆：球の直径の長さや立方体の一辺の長さの関係を捉え、立方体の体積の求め方を式に表すことに課題がある。
  - 身の回りの形から図形を捉え、図形を構成する要素を見だし、体積を求めるために必要な情報を判断できるようにする。

#### 【変化と関係】

- ◆：道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述することに課題がある。
  - 場面や目的に応じて、単位時間あたりに移動する長さや、一定の長さを移動するのにかかる時間として速さを捉え、速さを比べることができるようにする。

#### 【データの活用】

- ◎：円グラフの特徴を理解し、割合を読み取ることはできている。

### 3-1 中学校国語（調査時間50分）

「学習指導要領に示された内容に基づき、中心的に取り上げるものを精選した問題」として、15問で構成されている。  
本町の結果は、全国及び県平均とほぼ同じ正答率であった。

この調査では、学習指導要領の内容として『言葉の特徴や使い方』『情報の扱い方』『我が国の言語文化』『話すこと・聞くこと』『書くこと』『読むこと』の6つの領域ごとに集計している。

本町の結果を全国・県平均正答率とそれぞれ比較すると、以下のとおりである。

- ・『言葉の特徴や使い方』：全国とほぼ同じ、県を上回った
- ・『情報の扱い方』：全国・県とほぼ同じであった
- ・『我が国の言語文化』：全国・県とほぼ同じであった
- ・『話すこと・聞くこと』：全国・県とほぼ同じであった
- ・『書くこと』：全国・県を大きく上回った
- ・『読むこと』：全国・県とほぼ同じであった

### 3-2 中学校国語の傾向及び改善策

#### ① 傾向

国語の平均正答率は全国、県とほぼ同じであった。  
全問正答者（15/15問）は全国平均より少ないが、正答数が14、13、12問の児童が多い。  
問題形式では、全国と比べ記述式の正答率が高い傾向にある。

#### ② 成果・課題および考えられる改善策

##### 【言葉の特徴や使い方に関する事項】

◎：短歌に用いられている表現の技法について理解することはできている。

##### 【情報の扱い方に関する事項】

◎：具体と抽象など、情報と情報との関係について理解することはできている。

◆：意見と根拠など、情報と情報との関係について理解することに課題がある。

→ 意見とそれを支える根拠がどのように結び付いているかを捉えたり、整理したりすることができるようにする。互いの考えを伝え合う活動等において、発言を振り返る学習活動を位置付ける。

##### 【我が国の言語文化に関する事項】

◎：行書の特徴を理解することはできている。

##### 【話すこと・聞くこと】

◎：話合いの話題や展開を捉えながら、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめることはできている。

##### 【書くこと】

◎：表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することはできている。

##### 【読むこと】

◎：目的に応じて必要な情報に着目して要約することはできている。

◆：短歌の内容について、描写を基に捉えることに課題がある。

→ 細部の描写にも着目しながら、物事の様子や場面などを丁寧に捉えることができるようにする。短歌の鑑賞などでは、交流を通して、自分の解釈の根拠を説明したり、他の読み手の解釈と比較したりする場を設定する。

## 4-1 中学校数学（調査時間50分）

「学習指導要領に示された指導内容をバランスよく出題した問題」として、16設問で構成されている。

本町の結果は、全国平均及び県平均を上回る正答率であった。

この調査では、学習指導要領の領域等として『数と計算』『図形』『関数』『データの活用』の4つの領域ごとに集計している。

本町の結果を全国・県平均正答率とそれぞれ比較すると、以下のとおりである。

- ・『数と計算』 : 全国・県を上回った
- ・『図形』 : 全国・県を上回った
- ・『関数』 : 全国・県とほぼ同じであった
- ・『データの活用』 : 全国・県を大きく上回った

## 4-2 中学校数学の傾向及び改善策

### ① 傾向

数学の平均正答率は全国及び県を上回った。

全問正答者（16/16問）は全国と同様であり、正答数が15問の生徒が多い。14問の生徒は全国より少ないが、12、11問の生徒は全国より多く、13、10問の生徒は全国と同様である。

問題形式では、選択式、短答式、記述式とも全国と比べやや高い傾向にある。

### ② 成果・課題および考えられる改善策

#### 【数と式】

- ◎：問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算をすることはできている。
- ◎：目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することはできている。

#### 【図形】

- ◎：回転移動について理解することはできている。
- ◆：筋道を立てて考え、証明することに課題がある。  
→ 事柄が成り立つことを証明できるようにするために、証明の方針を立て、それに基づいて仮定から結論を導く推論の過程を数学的に表現できるようにする。

#### 【関数】

- ◎：グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することはできている。
- ◆：事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することに課題がある。  
→ 様々な問題を、数学を用いて解決できるようにするために、問題解決の構想を立てたり、問題解決の過程や結果を振り返ったりする活動を取り入れる。その際、数学を活用する方法を説明できるようにする。

#### 【データの活用】

- ◎：与えられたデータから最頻値を求めることはできている。
- ◆：複数の集団のデータの分布の傾向を比較して読み取り、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することに課題がある。  
→ データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を数学的な表現を用いて説明する場面を設定する。

## 5-1 小学校児童質問（調査時間20分程度）

「(1) 朝食を毎日食べている。(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」など 63 項目 69 問 (R5 年度: 59 項目) の質問で構成されている。また、各教科の問題に関する質問も出されており、合計 67 項目 73 問 (R5 年度: 63 項目) となっている。

児童は、「1: している 2: どちらかといえば、している 3: あまりしていない 4: 全くしていない」などの 4 つの選択肢から 1 つを選ぶ方法で答えた。また、時間や取組を選択肢から選ぶ設問もある。

そこで、「1: している (あてはまる) 2: どちらかといえば、している (あてはまる)」などと肯定的に答えた児童の割合を合計し、全国の割合と比較した。

質問は中学校質問とほぼ同じ内容である。質問の入れ替えが多く、比較できない項目もあるが、今年度の「全国の割合を上回った質問」は 73 問中 28 問だった。(R5 年度 63 項目中 17 項目) また、「全国の割合を下回った質問」は 4 問だった。(R5 年度 8 項目)

### ◎今年度新設された質問 (18 問)

質問番号	調査項目
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
28-1	I C T 機器を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
28-2	I C T 機器を活用して、分からないことがあったときに、すぐ調べることができる。
28-3	I C T 機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる。
28-4	I C T 機器を活用して、画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよく分かる。
28-5	I C T 機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
28-6	I C T 機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
28-7	I C T 機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができる。
33	学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う。
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
46	国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。
47	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。
48	国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。
56	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。
57	算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。

① 全国の割合を上回った質問：28問

	番号	質問
1	10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
2	11	将来の夢や目標を持っている。
3	12	人が困っているときは、進んで助けている。
4	14	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
5	17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
6	28-1	I C T機器を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
7	28-3	I C T機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる。
8	28-5	I C T機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
9	28-6	I C T機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
10	28-7	I C T機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができる。
11	31	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
12	32	授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
13	38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
14	39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
15	40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
16	41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
17	42	国語の勉強は好きだ。
18	44	国語の授業の内容はよく分かる。
19	47	国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。
20	49	国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。
21	50	算数の勉強は好きだ。
22	52	算数の授業の内容はよく分かる。
23	54	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
24	56	算数の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。
25	57	算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。
26	58	理科の勉強は好きだ。
27	59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。
28	60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。

② 全国の割合を下回った質問：4問

	番号	質問
1	18	友達関係に満足している。
2	61	英語の勉強は好きだ。
3	算1	言葉や数、式を使ってわけや求め方を書く問題を最後まで解答を書こうと努力した。
4	算2	解答時間は十分だった。

③ 複数の選択肢から選ぶ質問等：9問

質問番号	調査項目
4	学校の授業時間以外に、普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間、PC、タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）。

学校以外でもICT機器を活用して学習している（1時間以上）児童は県、全国を上回っている。一方で「全く使わない」と回答した児童の割合も県、全国を大きく上回っている。

質問番号	調査項目
5	普段（月～金）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。

「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童が一番多かった。また「全くしない」と回答した児童の割合は、県、全国を上回った。

質問番号	調査項目
6	普段（月～金）、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンで学習する時間やゲームの時間は除く）。

「2時間以上、3時間より少ない」と回答した児童が一番多かった。また「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した児童の割合は、県、全国を上回った。

質問番号	調査項目
21	学校の授業時間以外に、普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童が一番多く、全国を上回ったが、県を下回った。また「全くしない」と回答した児童の割合は県を上回っている。

質問番号	調査項目
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、一日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

「1時間以上、2時間より少ない」と回答した児童が一番多く、全国を大きく上回った。また「全くしない」と回答した児童の割合は県を大きく上回っている。

質問番号	調査項目
23	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。

「26～100冊」と回答した児童が一番多い。

「0～10冊」と回答した児童の割合は全国を上回っている。

質問番号	調査項目
24	新聞を読んでいますか。

「ほとんど、または、全く読まない」と回答した児童が最も多く、県、全国を上回っている。

質問番号	調査項目
27	5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

「ほぼ毎日」と回答した児童の割合は、県、全国を大きく下回っている。

「週3回以上」と回答した児童が一番多かった。

質問番号	調査項目
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

「当てはまる」と回答した児童が一番多く、県、全国を上回っている。

## 5-2 中学校生徒質問（調査時間20分程度）

「(1) 朝食を毎日食べている。(2) 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。」など 65 項目 71 問 (R5 年度: 72 項目) の質問で構成されている。また、各教科の問題に関する質問も出されており、合計 69 項目 75 問 (R5 年度: 80 項目) となっている。

生徒は、「1: している 2: どちらかといえば、している 3: あまりしていない 4: 全くしていない」などの 4 つの選択肢から 1 つを選ぶ方法で答えた。また、時間や取組を選択肢から選ぶ設問もある。

そこで、「1: している (あてはまる) 2: どちらかといえば、している (あてはまる)」などと肯定的に答えた生徒の割合を合計し、全国の割合と比較した。

質問は小学校質問とほぼ同じ内容である。質問の入れ替えが多く、比較できない項目もあるが、今年度の「全国の割合を上回った質問」は 75 問中 59 問だった。(R5 年度 80 項目中 40 項目) また、「全国の割合を下回った質問」は 1 問だった。(R5 年度 9 項目)

### ◎今年度新設された質問 (19 問)

質問番号	調査項目
8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。
20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
28-1	I C T機器を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
28-2	I C T機器を活用して、分からないことがあったときに、すぐ調べることができる。
28-3	I C T機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる。
28-4	I C T機器を活用して、画像や動画、音声等を活用することで学習内容がよく分かる。
28-5	I C T機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
28-6	I C T機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
28-7	I C T機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができる。
33	学級の友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う。
37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
46	国語の授業で、話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している。
47	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。
48	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。
49	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。
56	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。
57	数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。
59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。

① 全国の割合を上回った質問：59問

	番号	質問
1	2	毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
2	8	健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立てている。
3	9	自分には、よいところがあると思う。
4	10	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
5	11	将来の夢や目標を持っている。
6	12	人が困っているときは、進んで助けている。
7	13	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
8	14	困りごとや不安があるときに、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。
9	15	人の役に立つ人間になりたいと思う。
10	16	学校に行くのは楽しいと思う。
11	17	自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
12	18	友達関係に満足している。
13	19	普段の生活の中で、幸せな気持ちになる。
14	20	分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができている。
15	25	地域や社会をよくするために、何かをしてみたいと思う。
16	28-2	I C T機器を活用して、分からないことがあったときに、すぐ調べることができる。
17	28-3	I C T機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる。
18	28-4	I C T機器を活用して、画像や動画、音声等によって学習内容がよく分かる。
19	28-5	I C T機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
20	28-6	I C T機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
21	28-7	I C T機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができる。
22	30	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
23	31	授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
24	32	授業では、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
25	33	学級の生徒と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
26	34	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
27	35	授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができると思う。
28	36	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
29	37	授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にしてお互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
30	38	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
31	39	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
32	40	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
33	41	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

34	43	国語の勉強は大切だと思う。
35	44	国語の授業の内容はよく分かる。
36	45	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
37	46	国語の授業で話を聞いたり文章を読んだりするときに、具体的な情報と抽象的な情報との関係を捉えて理解している。
38	47	国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。
39	48	国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。
40	49	国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。
41	50	数学の勉強は好きだ。
42	51	数学の勉強は大切だと思う。
43	52	数学の授業の内容はよく分かる。
44	53	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
45	54	数学の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
46	55	数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずに色々な方法を考える。
47	56	数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。
48	57	数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。
49	58	理科の勉強は好きだ。
50	59	自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがある。
51	60	理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。
52	61	英語の授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。
53	62	英語の授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。
54	63	英語の授業では、原稿などの準備をすることなく、即興で自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思う。
55	64	英語の授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。
56	65	英語の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う。
57	国 1	解答を文章で書く問題で、最後まで解答を書こうと努力した。
58	国 2	解答時間は十分だった。
59	数 1	言葉や数、式を使って説明する問題で、最後まで解答を書こうと努力した。

② 全国の割合を下回った質問：1問

	番号	質問
1	算 2	解答時間は十分だった。

③ 複数の選択肢から選ぶ質問等：9問

質問番号	調査項目
4	学校の授業時間以外に、普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間、PC、タブレットなどのICT機器を勉強のために使っていますか（遊びなどの目的に使う時間は除く）。

学校以外でもICT機器を活用して学習している生徒は、約6割が1時間より少ない。  
一方で「全く使わない」と回答した生徒の割合は県、全国を大きく下回っている。

質問番号	調査項目
5	普段（月～金）、一日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームを含む）をしますか。

「1時間以上、2時間より少ない」と回答した生徒が一番多かった。  
また「全くしない」と回答した生徒の割合は、県、全国を下回っている。

質問番号	調査項目
6	普段（月～金）、一日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか（携帯電話やスマートフォンで学習する時間やゲームの時間は除く）。

「2時間以上、3時間より少ない」と回答した児童が一番多かった。  
また「携帯電話やスマートフォンを持っていない」と回答した児童の割合は県、全国をやや上回った。

質問番号	調査項目
21	学校の授業時間以外に、普段（月～金）一日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

「1時間以上、2時間より少ない」と回答した生徒が一番多く、全国を上回ったが、県を下回った。  
また「全くしない」と回答した生徒の割合は県、全国を下回っている。

質問番号	調査項目
22	土曜日や日曜日など学校が休みの日に、一日当たりどのくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）。

「1時間以上、2時間より少ない」と回答した生徒が一番多く、県、全国を上回った。  
また「全くしない」と回答した生徒の割合は全国を大きく下回っている。

質問番号	調査項目
23	あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、新聞、教科書は除く）。

「26～100冊」と回答した生徒が一番多い。  
「0～10冊」と回答した生徒の割合は県、全国を上回っている。

質問番号	調査項目
24	新聞を読んでいますか。

「ほとんど、または、全く読まない」と回答した児童が最も多く、県、全国を上回っている。

質問番号	調査項目
27	1、2年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。

「ほぼ毎日」と回答した生徒が一番多く、その割合は、県、全国を大きく上回っている。

質問番号	調査項目
33	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。

「当てはまる」と回答した児童が一番多く、県、全国を大きく上回っている。

## 6-1 クロス集計（学力調査と生活習慣等の相関）の結果〔小学6年生〕

①正答率が高かった児童において、どのような質問に肯定的に答えているか（☆：R5も同傾向）

### 国語、算数の2教科において、正答率の高い児童の傾向

- ☆ 朝食を毎日食べている。
- ☆ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
- ☆ 人の役に立つ人間になりたいと思う。
  - ・ 授業でICT機器を活用して、分からないことがあったときに、すぐに調べることができる。
- ☆ 国語の勉強は大切だと思う。
- ☆ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う。
- ☆ 算数の勉強は大切だと思う。
  - ・ 算数の授業の内容はよく分かる。
- ☆ 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出た時に役に立つと思う。
  - ・ 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。
- ☆ 国語の解答を文章で書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した。
- ☆ 算数の言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。

### 国語において、正答率の高い児童の傾向

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に起きている。
- ・ 授業でICT機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
- ・ 授業でICT機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができる。
- ・ 学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- ・ 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。

### 算数において、正答率の高い児童の傾向

- ・ 学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている。
- ・ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ・ 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずに色々な方法を考える。
- ・ 英語の勉強は大切だと思う。

②肯定的に答えた児童の方が、正答率が高くなる傾向の項目（☆：R5も同傾向）

国語、算数の2教科において、正答率が高くなる傾向の項目

- ・ 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。
- ・ 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫している。
- ・ 新聞を読んでいる。
- ☆ 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う。
- ・ 授業でICT機器を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
- ・ 授業でICT機器を活用して、分からないことがあった時に、すぐ調べることができる。
- ・ 授業でICT機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
- ・ 5年生までの授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。
- ☆ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。
- ☆ 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができていると思う。
- ・ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- ☆ 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。
- ☆ 学級活動における話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。
- ☆ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ☆ 国語の勉強は大切だと思う。
- ☆ 国語の授業の内容はよく分かる。
- ・ 国語の授業で、目的に応じて、話すために集めた材料を、いくつかのまとまりに分けたり結び付けたりしながら、伝える内容を考えている。
- ・ 国語の授業で、目的に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように工夫して文章を書いている。
- ☆ 国語の授業で、物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているのかに着目している。
- ・ 算数の勉強は好きだ。
- ☆ 算数の授業の内容はよく分かる。
- ・ 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考える。
- ・ 算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずに色々な方法を考える。
- ・ 算数の問題が解けた時、別の解き方を考えようとしている。
- ・ 算数の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしている。
- ・ 理科の勉強は好きだ。
- ・ 英語の授業の内容はよく分かる。
- ・ 国語の解答を文章で書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した。
- ・ 算数の言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。

### 国語において、正答率が高くなる傾向の項目

- ☆ 自分には、よいところがあると思う。
- ・ 人が困っている時は、進んで助けている。
- ・ 授業でICT機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる。
- ・ 授業でICT機器を活用して、画像や動画、音声等により学習内容がよく分かる。
- ・ 5年生までに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた。
- ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
- ・ あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。
- ・ 国語の授業で、違う点や似ている点を意識したり、図で示したりしながら、情報を整理している。

### 算数において、正答率が高くなる傾向の項目

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。
- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。
- ・ 授業でICT機器を活用して、友達と協力しながら学習を進めることができる。
- ・ 5年生までの授業では、自分の考えを発表する機会が、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していた。
- ・ 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている。

## 7-2 クロス集計（学力調査と生活習慣等の相関）の結果〔中学3年生〕

①正答率が高かった生徒において、どのような質問に肯定的に答えているか（☆：R5も同傾向）

### 国語、数学の2教科において、正答率の高い児童の傾向

- ☆ 朝食を毎日食べている。
  - ・ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。
  - ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う。
  - ・ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。
- ☆ 国語の勉強は大切だと思う。
- ☆ 国語の解答を文章で書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した。
- ☆ 数学の言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。

### 国語において、正答率の高い児童の傾向

- ・ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
- ・ 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。

### 数学において、正答率の高い児童の傾向

- ・ 授業でICT機器を活用して、分からないことがあったときに、すぐに調べることができる。
- ・ 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

## ②肯定的に答えた児童の方が、正答率が高くなる傾向の項目（☆：R5も同傾向）

### 国語、数学の2教科において、正答率が高くなる傾向の項目

- ・ 分からないことや詳しく知りたいことがあった時に、自分で学び方を考え、工夫している。
  - ・ 1、2年生の授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。
  - ・ 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思う。
  - ・ 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる。
  - ・ 道徳の授業では、自分の考えを深め、学級やグループで話し合う活動に取り組んでいる。
  - ・ 国語の勉強は大切だと思う。
- ☆ 国語の授業の内容はよく分かる。
- ☆ 数学の授業の内容はよく分かる。
- ・ 数学の問題の解き方が分からない時は、あきらめずに色々な方法を考える。
  - ・ 理科の勉強は好きだ。
  - ・ 1、2年生の授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思う。
  - ・ 1、2年生の授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思う。
  - ・ 国語の解答を文章で書く問題では、最後まで解答を書こうと努力した。
  - ・ 数学の言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題について、最後まで解答を書こうと努力した。

### 国語において、正答率が高くなる傾向の項目

- ☆ 自分には、よいところがあると思う。
- ・ 人が困っている時は、進んで助けている。
  - ・ 授業でICT機器を活用して、自分の考えや意見を分かりやすく伝えることができる。
  - ・ 授業でICT機器を活用して、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなる。
  - ・ 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。
- 国語の授業で、自分の考えが伝わるように、表現の効果を考えて文章を書いている。
- ・ 国語の授業で、説明的な文章を読み、目的に応じて必要な情報に着目して要約し、内容を解釈している。
  - ・ 数学の勉強は大切だと思う。

### 数学において、正答率が高くなる傾向の項目

- ・ 授業でICT機器を活用して、自分のペースで理解しながら学習を進めることができる。
- ・ 授業でICT機器を活用して、楽しみながら学習を進めることができる。
- ・ 授業でICT機器を活用して、画像や動画、音声等により学習内容がよく分かる。
- ・ 国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめている。
- ・ 数学の勉強は好きだ。
- ・ 数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしている。
- ・ 1、2年生の授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていたと思う。